

# Eco通信

NO.56  
2020 春号

鶴岡市環境課・廃棄物対策課



3月～4月はカラスの繁殖の季節です。電柱や庭木などに巣づくりをし、盛んに餌を運ぶ姿が見られるようになります。環境課にも、よく「カラスが巣をつくった。危ないので取り除いてほしい」との相談があります。

カラスは人を襲う危険な鳥なのでしょう？ 近年、このイメージは、様々な誤解が重なってできたものと考えられています。

## ◆カラスが人を襲う時期

カラスが実際に人を襲う危険があるのは、5月中旬～6月上旬に限られます。ヒナが育ち巣立ちをする前後の時期が最も過敏になるため、その時期に気を付ければ、カラスから襲われる可能性を大きく下げることができます。

## ◆よくある誤解：くちばしでつく？

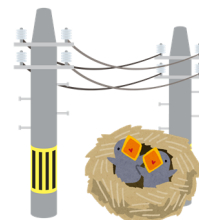
鳥がつつくためには体を固定しなければならないため、体の構造上、飛びながらつくることができません。カラスが襲う手段は足での蹴り(翼が当たることも)で、鋭い爪が当たり「つつかれた」と勘違いしてしまうようです。

## ◆襲われないためには？

上記の過敏な時期には、なるべく巣に近づかないとよいでしょう。そばを通る必要があるときは、見つめたり、急に動いたりせず、静かに通り過ぎましょう。やってはいけないのは、巣や近くにとまっているカラスに対して ①じっと見る ②腕を振る ③大声を出す などです。カラスは「ガー！ガー！」「カッカカッ」と鳴き、警戒しているぞ、とサインを送ってきます。それでも危機が去らないと判断した場合、低空飛行や人を襲う行動に出ることがあります。万が一こちらに飛んでくるカラスに気づいたら、両腕を頭の上に上げて飛び去るのを待ってください。

## ◆巣の撤去について

電柱にできた巣は、停電の原因になることがあるため、電力会社に連絡して取り除いてもらう必要があります。ただし、つくられてすぐに取り除くと、同じ場所や近くにもう一度作り直すため、いたちごっこになってしまいます。また、鳥獣保護管理法上、既に卵やヒナが生まれている巣は特別な許可がないと撤去できません。



カラスは人間と生活空間が近く身近な存在ですが、野生動物の一種です。お互いがなんとか我慢できる着地点を探り、適切な距離感を保つことが必要です。

参考文献：

寺子屋新書「カラスの常識」柴田佳秀

北海道新聞社「なんでそうな札幌のカラス」中村眞樹子

【環境課】

## こまめな冷蔵庫チェックで 食品ロス ゼロ！

冷蔵庫に食品を入れたまま、消費期限が切れてしまったり、腐ったりしてしまい、食わずに捨ててしまった経験はありませんか？ 定期的に冷蔵庫の中の食品をチェックし、庫内の食品を循環させることが大切です。これから気温が高くなっていき、冷蔵庫の利用度も高くなっていきます。特に生鮮野菜や消費期限の短い食べ物の管理には十分気を付けてください。

【廃棄物対策課】

## 『つるおか森の時間』活動報告

環境課では年4回程度、自然体験プログラム『つるおか森の時間』を開催しており、今年度も無事開催できました。

また来年度(4月～)も開催予定ですので、ご参加いただきますようお願いいたします。開催情報は日程など決まり次第、広報つるおかや市HPなどで周知する予定です。



今年度の活動報告



【環境課】